

■ 審査委員会

50音順★は審査委員長

※フリースペースの部別途記載

格花

格花の部
指定花材の部
(格花)
特別審査
(格花)

一ノ瀬 梅岳
役 爽光
★ 大塚 理司
★ 大坪 光泉
★ 肥原 慶甫
西村 一観
矢上 哲己
渡邊 溪壽

新池坊家元
正風流家元
古流かたばみ家元
龍生派家元顧問教授
未生流家元
清泉古流家元
(一財)池坊華道会理事
宏道流家元

自由花

自由花の部
指定花材の部
(自由花)
特別審査
(自由花)

★ 磯村 信夫
海野 俊彦
★ 粕谷 明弘
★ 川崎 景太
久保島 一超
後藤 覚徹
柴崎 秀應
★ 谷口 雅邦

(株)大田花き代表執行役社長
国風華道会家元
一葉式いけばな家元
フラワーアーティスト
草月流・(一財)草月会 監事
草真流家元
池坊宝生流家元
いけばな作家・了徳寺大学客員教授

※各部門の格花・自由花を審査いたします。

★ ヴィクトリーいけばなの部

■ 審査方法・監査

- 審査は上記審査員が構成する審査委員会によって厳正に行われます。各審査委員が100点満点で作品を採点します。審査員全員の点数のうち最高点・最低点を除いた点数の平均を作品の点数とし、入賞・入選を決定します。平均点が同点の場合、取り除いた点の差で順位を決めます。さらに同点の場合は審査委員会の判断により決定します。
- 審査結果は翌朝、会場にて発表いたします。いかなる理由でも審査内容に関しての質問は受け付けません。
- 監査は監査委員会において行われます。花材検査、作品の大きさ等の監査があり、違反している場合、審査された結果の得点より、所定の減点がされることがあります。

■ 全部門共通のお願い・ご注意

- ①生込みの終了時間を厳守してください。時間内に後片付けまで終わらせて、合図とともに退室していただけます。
- ②出品者は、作品について常に鑑賞に堪えられるように責任を持って管理してください。
- ③会期中の展示作品に関する手直しの指示や、傷んだ作品の撤去などに関する一切の権限は花展運営委員会が保有するものといたします。
- ④花席・BOX・バックパネルなどの色や形状の変更・加工はできません。
- ⑤会場内での揮発性塗料や可燃性の強いものの使用はできません。
- ⑥会場内での電源の使用はできません。
- ⑦審査に関する問い合わせには一切応じられません。
- ⑧いけばな大賞を受賞された方は翌年は招待出品となります。(審査対象外)

■ 出品規定

ヴィクトリーいけばなの部・フリースペースの部を除く

下記の出品規定をお守りください。規定に反する場合は、減点もしくは審査の対象外といたします。

- 1.生込みは、終了まで出品者一人で行うこと。会場係・監査委員は内容の如何に係わらず一切手を貸すことはできない。
- 2.事前に下生け(事前に花を生けあげる行為)は可能だが、完成したもの(またはそれに近いとみなすもの)であってはならない。基本的に作品は会場で作ること。
- 3.花材点検の際は必ず監査委員の判断に従うこと。
- 4.異質物のみの作品は認められない。(植物を主材に・指定花材の部は指定花材を主材にすること)
- 5.作品は創作的なものとし、模倣的なものは自重すること。
- 6.作品の大きさの規定は厳守のこと。
- 7.生込み開始前に花器に花材は入れないこと。(花器には水と花留(剣山など)は事前に入れることができる)

■ 花材検査のガイドライン2017 重要 必ずご覧ください!

● 花材は組まれたり、加工されていないこと。

格花の場合、楔や撓め等で枝の形ができていないこと。

(例 ■ 枝物：楔が入られた状態でないこと。枝同士が針金やボルト等で止められていないこと。■ 草物・葉物：束ねられたりせず、各々が独立した状態であること。茎の中に針金に通っていないこと。葉の選択は可能だが、葉組、極端なカットがなされていないこと)

● 主になる構造体が作品になっていないこと。最小の状態を持ち込む

自由花の場合、あらかじめ部材が造形されていないこと。各々が独立した状態になっていること。(例：青竹、枯木など)

構造体は作品の主題になっていないこと。

★個々の作品についてのご質問は書面にてお願いいたします。監査委員会より書面にてご回答させていただきます。また、問合せの内容とその返答は随時ホームページ上に公表いたします。

★指定花材の部は副花材のみ花材検査を行います。